

宮浦支部

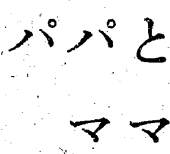
【不起訴になったのを知っているか】知っています。

すいという利点はいちおうまとめ
は喪失症におちているのだろうか
としても、この言葉の原因は、
そして大事なことは、この言葉は



島 文枝さん (35才)

(continued)



港務 柿 坂 敏

日本人のたえず魂の故郷となり、
嚴肅と仁愛の日本的、道義心の出
発点の母体ともなる言葉ではない
だろうか。

お父さん、お母さんという表現
は、煙草をパツパと吸うからパッ
おまんまを作ってくれるからママ
というような、そんなゴロ合わせ
のような言葉とは出来が違つてい
るのだ。

この言葉の原因は、一番大切な
子供が不在になり、パパ、ママを
使う生活が、文化的にも高くなつ
たような親達のはかない虚栄に因
するのではないだろうか？。

墨足で唐手をカジリながら鼻をた
らした子供が、焼酒をのんでいる
父親に、パパなんていつている
光景を想像しただけでも、ゾット
するではないか。

そして、もう一つ奇怪なる事は
はなからうか。

が、その基本になるような、この
事に関しては、一言半句もふれ
ない事は、私は不思議に思えてな
ぬ。どこかの国にはお弱い方々々
遠慮とみるのは、あなたが私の
ガミでもあるまい。

とにかく、パパという言葉は
これらのあやしいなる女性がパッ
ロンを呼ぶ時、ママと言うのは、
酔はつた助平野郎共が、酒場
ママを呼ぶ時に使うのが一番哥
した言葉で、日本の家庭の中に
ち込むのは御免こうむりたいもの
だ。

父の如秋は厳めし
母の如秋はなつかしい
家持たぬ兄に。

この心にしみるような歌の味や
いも、父なる言葉、母なる言葉の
偉大さからくる、日本人の哀愁
はなからうか。



(四山) 左 藤 臣 芳

土いじりの前に
お庭の草はとりたいが、
ツメに土がはいつてやぶれ
るのはイヤだし——こんな
に残りません。

んを入れておくと、仕事か
終わって手を洗う時、ブラ
シでこすると土がツメの中

家に帰ると、何も知らない姉の初子はそのきに夜食をすませ、縁側で無心にテレビを見ていた。母は身体がだるいといつて早く床についていた。土曜になって、飯を食べる初子を納得させた。

名行快速バスに乗りはったちええのよ、姉さんは弁当を作ったり、朝が早いわ、早う寝たらしい」

広子は具体的に多少誇張してはいる初子を納得させた。

嬢した炭住の生活——そこに
 は充実したゆとりというもの、
 川のおかほでもないのだ。まして
 女は恋をしているときほど、何を
 もらってんのよ。川のキャンプだ
 けれど、実はね、姉さんは水着を
 まで内証にしとく約束やったん
 ことがあるんわね、徹さんと、朝

芳臣 省

はヒトカケラも見
出せなかつた。
広子はむしゃく
しゃくして、佳い
の帰
藤 左
何食わぬ顔で姉に
やつた。初子は、
もう何もかも嬉し
みで一杯の様子だ

作三
 子
 (四山)
 云

した。
姉さん、黙って
おこうと思ってい
な、徹さんが、
あす病
もないと思う。
朝になったらラ
志のことだ、何で
バレても恋人同
したと思つた。

池水源地にキャンプに行きはるって、それで、せび姉さんに伝えとてくれと、たのまれていたんや

ト小屋でなくホテルでも泊れるように一万円を渡すつもりだった。

ひ子は、今度の帰省中ですか。

「それ本当……」

初子は身をのりだしてきた。そして急に爆きだすと、これから徹

広子はそっと窓辺にたった。暗い空には、杯星が輝いて、一つ、また一つ、流れ星が消えていく、そ

「姉さん、むこうで何でも準備
つた。」